



高知県

正念場！  
高知県産業振興計画

第65号 2011年10月

## 農業技術センターニュース

| 目                                                                                 |                                      | 次                                                                                 |                                       |
|-----------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------|
|  | 育苗期の殺虫剤散布が<br>タイリクヒメハナカメムシに与える影響 … 1 |  | ニラの調製作業省力のための機械化の検討 … 4               |
|  | 臭化メチル剤に替わる<br>ショウガ根茎腐敗病対策 … 2        |  | トルコギキョウの冬春出しでの<br>夜間変温栽培による重油削減効果 … 5 |
|  | 良食味品種‘つや姫’の<br>本県早期栽培への適応性 … 3       |  | ハスイモの生産安定に向けた<br>農業登録拡大の取り組み … 6      |

育苗期の殺虫剤散布が  
タイリクヒメハナカメムシに与える影響

表 タイリクヒメハナカメムシ幼虫に対して影響がなくなるまでの日数

| 薬 剤 名       | 希釈倍率    | シシトウ | ピーマン | ナス  |
|-------------|---------|------|------|-----|
| アドマイヤー顆粒水和剤 | 5,000倍  | 42日  | 29日  | 21日 |
| アクタラ顆粒水溶剤   | 3,000倍  | 56日  | 42日  | 29日 |
| アーデント水和剤    | 1,000倍  | 42日  | 56日  | 29日 |
| アフーム乳剤      | 2,000倍  | 14日  | 14日  | 21日 |
| スピノエース顆粒水和剤 | 2,500倍  | —    | 7日   | 7日  |
| スピノエース顆粒水和剤 | 20,000倍 | 21日  | —    | —   |



注1) (株)アグリ総研で継代飼育しているタイリクヒメハナカメムシ2～4齢幼虫を供試した。2) 品種:シシトウ;土佐じしビューティー、ピーマン;トサヒメR、ナス;土佐鷹 3) 処理方法:鉢上げ後に、クミテン5,000倍を加用した各薬剤を350ml/20株散布した。4) 調査方法:散布7日後から概ね1週間隔で調査を行い、タイリク幼虫の各薬剤に対する補正死虫率を調べた。調査は薬剤の影響が見られなくなった時点(補正死虫率<10%)で打ち切った。5) —は未実施。

高知県の施設ナス、ピーマン類では、アザミウマ類の防除にタイリクヒメハナカメムシ(以下、タイリク;写真)が広く利用されています。最近では、アザミウマ類を早くから抑えるために、タイリクをできるだけ早期に放飼する傾向が見られます。しかし、育苗期における殺虫剤の使用がタイリクの定着に及ぼす影響についてはほとんど明らかにされていません。そのため、タイリクの放飼が遅れたり、うまく定着しないことがあります。

そこで、育苗中のシシトウ、ピーマンおよびナスに殺虫剤を散布し、タイリク幼虫に対して影響がなくなるまでの日数を調査

しました。

その結果、アドマイヤー顆粒水和剤、アクタラ顆粒水溶剤、アーデント水和剤では影響がなくなるまでに3～8週間もかかることが明らかになりました。一方、アフーム乳剤とスピノエース顆粒水和剤では3週間以下と比較的短く、特にピーマンとナスにおけるスピノエース顆粒水和剤は1週間で影響が見られなくなりました(表)。

今後も引き続き、タイリクに対する殺虫剤の影響について調べるとともに、施設ナスで広く利用されているタバコカスミカメに対する影響についても調べる予定です。

(昆虫担当 中石一英 088-863-4915)